



くすのき

稲敷市立あずま西小学校
学校だより

NO.6

令和7年10月10日発行
文責：浅野 規子

「西っ子レンジャー」が活躍しています！

運動会の練習が始まり、校庭を使用する時間が増えましたが、校庭にはまだまだたくさんの雑草が生えてきます。教職員で休み時間や放課後に除草していますが、その様子を見た5年生の児童数人が手伝いを始めてくれました。西小を救うヒーロー、「西っ子レンジャー」が誕生したのです。そのレンジャーたちは、お昼の放送で全校児童にも参加を呼びかけてくれました。そして翌日からたくさんのレンジャーが休み時間に草取りや石拾いをしてれています。児童の自主的な活動が大きな輪となって広がっていることをとても嬉しく思います。



前期が終了します

本日で、令和7年度の前期が終了します。子どもたち一人一人の学習の様子と成長した姿を、通知表でお伝えします。ご家庭でも4月からのお子さんの頑張りを褒め、後期からも新たな目標をたてて頑張っていけるよう励ましてあげてください。

前期終業式で発表した代表児童の作文を紹介します。努力を続けていくこと、がんばっていかこうとする気持ちをもち続けることはとても大切で、それが将来を生きる力になるのではないのでしょうか。

一ねんせいになって 一年 代表児童

わたしは、一ねんせいになって、きゆうしよくが、かんしよくできるようになりました。さいしよは、ぎゆうにゆうがのめなくてのこしたり、ごほんものこしたりしていました。でも、そとでいっぱいあそんだら、おなががへって、どんどんたべられるようになりました。いまは、まいにちかんしよくしています。一ねんせいになって、がんばったことは、じをかくことです。ひらがなと、かたかながかけるようになって、いまは、かんじのれんしゆうをがんばっています。きょうで、一ねんせいの、はんぶんがおわりました。のこりのはんぶんでも、できることが、もつとふえるようにがんばります。

前期をふりかえって 三年 代表児童

今日で前期が終わりました。三年生になってから、たくさんのことを学びました。中でもがんばったことが三つあります。一つめは書写の授業です。さいしよは筆の持ち方や書き方がむずかしかったけれど、れんしゆうを重ねて、きれいな字が書けるようになってきました。二つめは国語の授業です。とくに音読がにがてでしたが、家で練習して、はつきり読めるようにがんばりました。少しづつじしんがついてきたと思います。三つめは算数の授業です。けいさんがにがてで、まちがえることも多かったけれど、何度もくりかえして練習して、だんだんできるようになりました。むずかしいこともあったけれど、あきらめずにがんばれてよかったです。後期ももつと成長できるように、べんきょうも運動もがんばりたいです。

